※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | ２０２ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新選世界史 B」（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院）、<br>「詳説世界史　改訂版　10 分間テスト（世 B310 準拠）（山川出版社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## ２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c: 資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検（作業プリント、ノート等） | 定期考査<br>行動の観察<br>記述の点検 | 定期考査<br>行動の観察 | 定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 諸地域世界の形成と交流 | ・文明のはじまり<br>・ユーラシア諸文明の特質<br>・ユーラシアの交流 | <br><br>○ | ○<br>○<br> | <br>○<br>○ | ○<br>○<br> | a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| 2学期 | 海洋による世界の一体化 | ・世界の一体化の第一歩<br>・ルネサンスと宗教改革<br>・ヨーロッパの主権国家体制<br>・アジアの繁栄<br>・世界経済体制の形成 | ○<br><br><br>○<br> | <br>○<br>○<br><br>○ | ○<br><br><br><br>○ | <br>○<br>○<br>○<br> | a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 環大西洋革命 | ・産業革命と工業化社会の成立<br>・アメリカ独立戦争<br>・フランス革命とナポレオン戦争<br>・ウィーン体制とその崩壊<br>・ヨーロッパ国民国家の発展<br>・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 | ○<br><br><br>○<br>○<br>○ | <br>○<br>○<br>○<br><br>○ | ○<br>○<br><br><br>○<br> | ○<br><br>○<br><br><br>○ | a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめた | 定期考査<br>ワークシート |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・東アジアの変容と日本の近代化 | | | ○ | ○ | りしている。<br>d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | |
| 3学期 | 地球社会形成の模索 | ・激変する社会と帝国主義<br>・第一次世界大戦とロシア革命<br>・戦間期のヨーロッパとアメリカ<br>・民族運動の高まり<br>・第二次世界大戦 | <br>○<br><br><br>○<br>○ | <br><br>○<br><br>○ | ○<br>○ | ○<br><br>○<br>○ | a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第二次世界大戦後の世界と日本 | ・冷たい戦争<br>・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱<br>・多極化の進展と冷戦体制の崩壊<br>・現代の世界 | <br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br><br> | ○<br><br><br>○ | <br>○<br><br>○ | a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている<br>b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 持続可能な社会への展望 | 〔主題学習〕<br>・課題の設定<br>・調査方法<br>・資料収集<br>・成果報告 | <br>○<br><br><br> | <br><br><br><br>○ | <br><br>○<br>○<br> | <br>○<br><br><br> | a:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。<br>b:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。<br>c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。<br>d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。 | レポート<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。